

山形県教員指標 教諭用B【教職の素養に関する資質・能力】 ※○印は、その段階における重点項目

別紙「指標」(たたき台) 教諭用B

領域	能力	項目	着任時の姿	始発期		成長期 (6～10年)	伸張期 (11～20年)	充実期 (21～30年)	組織運営期 (31～退職)
				前期 (初任～2年)	後期 (3～5年)				
総合的な人間力	年齢にふさわしい社会力	1 言葉遣いやマナーなどの社会人としての常識を身に付けた対応ができる。	○7						
		2 悩みや困ったことが生じた場合等には、管理職や同僚に相談することができる。		○					
		3 互いに相談し合える雰囲気率先してつくることことができる。					○		
		4 学年間や校務間をつなぎ、教職員間のコミュニケーションを活性化し、相互理解を促進することができる。					○		
	豊かな人間性・教養	5 豊かな教養と高い専門性を身に付けている。	○8						
		6 ストレス解消法を見つけ、明日への活力につなげるとともに、健康的な生活習慣を維持し、自己の健康管理を行うことができる。		○					
		7 日本及び外国の文化・歴史、環境問題、平和問題等についての幅広い知識を持っている。			○				
		8 仕事と生活の調和を図り、精神的なゆとりをもって仕事に取り組むことができる。					○		
		9 地域の一員として、自ら率先して地域活動に取り組むことができる。					○		
	学び続ける姿勢	10 学び続ける教員の重要性について理解している。	○9						
		11 常に自らの学びを省察し、課題を見つけて改善することができる。		○					
		12 チャレンジ精神や向上心を持ち、常に新たなことに取り組むなど自己研鑽に努めることができる。		○					
		13 管理職や同僚等の助言を謙虚に受け止め、自分を振り返り自己の成長につなげることができる。		○					
		14 教師として自己革新・自己成長への意欲をもち続けるとともに、そのための具体的な取組を行うことができる。					○		
教育公務員としての自覚	15 教育公務員にふさわしい倫理観と教育に対する強い使命感をもっている。	○10							
	16 教育公務員としての役割と職務内容を理解し、教育的視点に立った判断をすることができる。		○						
	17 高い倫理性のもとに、教育公務員として法令及び服務規律を遵守し、規範意識をもって職務に専念することができる。		○						
	18 高い倫理性と厳正な服務規律のもとに教職員の使命や任務を想起するとともに、法令を理解・遵守し、誠実かつ公正に服務を遂行することができる。					○			
チームマネジメント能力	経営参画意識	19 郷土を愛し、人とのつながりを大切に、よりよい学校や地域社会を築こうとしている。	○11						
		20 同僚と協働することの意義を理解し、問題解決に向けてチームで対応することができる。		○					
		21 自校の課題に対して、職員会議等において建設的に意見を述べるることができる。				○			
		22 組織の一員として自己の役割を自覚し、全体最適の視点から学校運営に貢献することができる。				○			
		23 学校を取り巻く状況を把握・分析し、学校組織の課題を発見することができる。					○		
		24 学校運営について、機会を自ら創り出して管理職に意見具申することができる。					○		
		25 柔軟な発想と企画力を持ち、学校運営や校務を推進することができる。					○		
		26 組織運営や教科経営に積極的にに関わり、学校教育目標の実現に向けて工夫改善を行うことができる。						○	
	27 組織全体について、内外の環境要因を広く見渡しながらその特徴をつかみ、「強み」を生かした教育活動を展開することができる。							○	
	連絡調整力	28 保護者や地域等との連携の必要性を理解し、円滑かつ迅速に対応することができる。				○			
		29 学年・学校内での共通認識のもと、外部の専門機関と連携を図ることができる。				○			
		30 保護者、地域、関係機関等、様々な立場の人と協力し、広く情報収集したり、適切に情報発信したりすることができる。						○	
		31 外部との調整の実務担当者として、自校の課題に応じて人的・物的資源を活用することができる。						○	
	チーム運営力	32 互いの課題や悩みに気づき、支え合う環境をつくるとともに、経験の浅い教職員を積極的に支援することができる。					○		
		33 会議や研修が効率的に行われるように、参加者の意見や積極的な取組を引き出すことができる。					○		
		34 同僚の特性や強みを見取り、それらを生かしたよりよい組織づくりに貢献することができる。						○	
		35 現状にとどまることなく、よりよい組織の構築に向け、リーダーシップを発揮することができる。							○
後輩への指導・助言力	36 同僚の教育実践における課題について、学び合う意識をもって助言することができる。					○			
	37 自らの教育方法や指導技術を公開し、教員としてのロールモデルであることを自覚し、後進の育成に当たることができる。							○	
危機管理	学校安全	38 危機管理の重要性を理解し、危機意識をもって行動しようとしている。	○12						
		39 危険発生時の対処要領に則り、児童生徒の安全を第一に考えて、事件・事故、災害への的確な対応ができる。		○					
		40 安全教育の計画の策定に主体的に参画し、学校安全に関する実践を推進することができる。						○	
		41 危険発生時の対処要領を作成し、事件・事故、災害への的確な対応ができる。							○
	学校情報管理	42 パソコンの使用規程などを遵守し、個人情報の保護などの安全管理に努めながら資料を作成したり活用したりすることができる。		○					
		43 パソコンの使用規程などを整備し、安全管理を徹底することができる。						○	
		44 最新のICT技術の動向や実態を把握して、安全管理の重要性の啓発を推進することができる。					○		